

kanamoto カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

vol.109

第60期(2024年10月期)第3四半期号



Mecenat Activities

地域活性化へ向けたカナモトの芸術文化・スポーツ支援

当社は、芸術文化やスポーツを支援する活動も企業価値の向上につながるものと認識しており、その一環として北海道を拠点に活動する2つのスポーツチームとスポンサー契約を締結しています。

LocoSolare
TOKORO CURLING TEAM

TEAM 1 一般社団法人ロコ・ソラーレ(カーリングチーム)

2024年3月に当社とスポンサー契約を締結した日本唯一のカーリングチーム「ロコ・ソラーレ」。その2024年シーズンのユニフォームは「オーロラとシューティングスター」をテーマにデザインされ、左膝には当社ロゴもプリントされています。今後も当社は、北海道常呂町から世界へと羽ばたいたロコ・ソラーレを応援してまいります。



左膝に当社ロゴを記した、2024年シーズンのユニフォームを着用したロコ・ソラーレ

HOKKAIDO NIPPONHAM FIGHTERS

TEAM 2 北海道日本ハムファイターズ(プロ野球チーム)

当社は、プロ野球チームである北海道日本ハムファイターズを応援しており、オフィシャルスポンサーにも名を連ねております。2023年3月に開業し、同チームの新本拠地となったエスコンフィールドHOKKAIDO(北海道北広島市)の建設においては、仮設ハウス300棟、敷鉄板15,000枚、高所作業車150台など、圧倒的な物量の機材を提供し、北海道の新たなシンボルづくりを支えました。



© HOKKAIDO NIPPONHAM FIGHTERS



エスコンフィールドHOKKAIDO(写真右:中央の建物)を本拠地として活躍する北海道日本ハムファイターズの監督・選手たち

当社は、両チームとの提携によってスポーツ振興を通じた地方創生を支援するとともに、北海道の魅力ある産業や文化の発展と活性化に貢献してまいります。

Lineup 取扱商品のご紹介 **フルタイム²⁴ レンタルサービス**

当社は、建設業をはじめとする顧客の利便性を高め、業務の効率化や生産性の向上に貢献する事業として、無人レンタカーシステム「フルタイム・レンタルサービス」を展開しています。

最大の特長は、免許証をかざすと予約したレンタカーのカギが取り出せる「キーボックス」を採用した無人システムのため、24時間365日いつでも好きな時間にレンタル・返却が可能なおです。営業日・営業時間に左右されないため無駄なレンタル期間が発生せず、時間もコストも削減できます。

利用方法はたったの3ステップ

- ① 電話で希望の車種・日程を予約
- ② 当社営業所に設置された無人キーボックスに免許証をかざしてカギを受け取る
- ③ カギに付属のICタグでキーボックスを開けてカギを返却



無人キーボックス

当社営業所の駐車スペースに設置された無人キーボックス



第60期第3四半期決算の概況 [2023年11月1日～2024年7月31日]

● 連結経営成績（累計）

括弧内の数字は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率(%)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第60期第3四半期	151,861(4.6)	9,029(16.4)	9,429(15.7)	5,432(28.7)	152.70
第59期第3四半期	145,155(4.6)	7,755(△15.4)	8,152(△15.8)	4,220(△28.8)	116.21

● 連結業績予想（累計）

第60期通期	205,300(4.0)	14,100(17.9)	14,300(14.5)	8,300(23.5)	233.69
--------	--------------	--------------	--------------	-------------	--------

[経営環境]

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復による雇用・所得環境の改善や政府の各種政策等の効果もあり、景気は緩やかに回復しているものの、金融資本市場の変動や海外景気の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は補正予算の効果もあって底堅く推移し、民間設備投資も持ち直しの動きがみられた一方、建設資材の価格高騰や労務費の上昇及び労働人口減少に伴う労働需給逼迫などに注視する必要があります。

このような状況のなか、当社グループでは、中期経営計画「Creative 60」(2020～2024年度)の最終年度を迎えこれまでの趨勢を分析・検討し、需要動向を見極めたレンタル用資産の適正配置に加え、経営資源の選択と集中を図るなど、利益率の向上に向けた戦略を推進し、次期中期経営計画の基盤形成に向けた体制構築に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は1,518億61百万円(前年同期比4.6%増)となりました。営業利益は90億29百万円(同16.4%増)、経常利益は94億29百万円(同15.7%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億32百万円(同28.7%増)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

主力事業である建設関連におきましては、交通インフラ整備や災害対策工事に加え、安全保障にかかわる防衛関連工事など、当社のシェアの高い北海道や九州エリアでの大型案件が継続して施工されています。

また、当社グループでは建設需要の本格化が見込まれる地域への対応力強化とレンタル単価の適正化による収益構造の改善や資産稼働率の向上など、目標達成に向け取り組んでおります。

中古建機販売につきましては、レンタル用資産の運用期間の延長を進めつつ、期初計画に基づき売却を実施していることから、売上高は前年同期比2.8%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は1,357億35百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は79億37百万円(同20.3%増)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報関連、福祉関連ともに好調に推移したことから、売上高は161億26百万円(前年同期比14.8%増)、営業利益は6億89百万円(同11.4%減)となりました。

■ 連結財務諸表

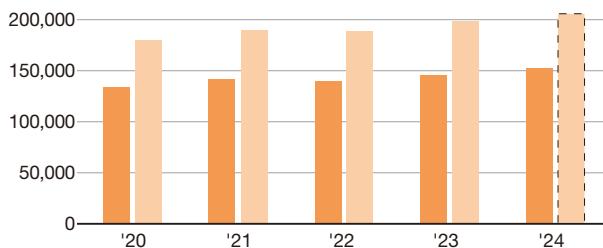
四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)	第59期第3四半期 (2022.11.1~2023.7.31)	第60期第3四半期 (2023.11.1~2024.7.31)
① 売上高	145,155	151,861
売上原価	103,978	108,713
売上総利益	41,177	43,148
販売費及び一般管理費	33,421	34,119
② 営業利益	7,755	9,029
営業外収益	719	753
営業外費用	322	353
③ 経常利益	8,152	9,429
特別利益	93	24
特別損失	457	147
税金等調整前四半期純利益	7,787	9,305
法人税、住民税及び事業税	2,660	3,135
法人税等調整額	408	235
四半期純利益	4,719	5,935
非支配株主に帰属する四半期純利益	499	502
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	4,220	5,432

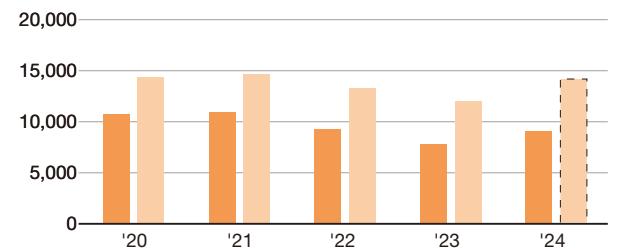
四半期連結包括利益計算書(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)	第59期第3四半期 (2022.11.1~2023.7.31)	第60期第3四半期 (2023.11.1~2024.7.31)
四半期純利益	4,719	5,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	882	1,109
繰延ヘッジ損益	-	△ 0
為替換算調整勘定	52	1,114
退職給付に係る調整額	5	5
その他の包括利益合計	940	2,229
四半期包括利益	5,659	8,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,150	7,656
非支配株主に係る四半期包括利益	509	508

① 売上高



② 営業利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第59期 (2023.10.31)	第60期第3四半期 (2024.7.31)
(資産の部)		
流動資産	120,298	124,973
固定資産	196,141	198,292
有形固定資産	173,977	176,320
無形固定資産	5,778	5,326
投資その他の資産	16,386	16,645
資産合計	316,440	323,266
(負債の部)		
流動負債	87,624	88,657
固定負債	85,139	87,467
負債合計	172,763	176,125
(純資産の部)		
株主資本	129,198	129,920
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,432	19,400
利益剰余金	97,842	100,596
自己株式	△ 5,906	△ 7,906
その他の包括利益累計額	5,296	7,520
その他有価証券評価差額金	2,983	4,089
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	2,343	3,457
退職給付に係る調整累計額	△ 30	△ 26
非支配株主持分	9,181	9,700
純資産合計	143,677	147,141
負債純資産合計	316,440	323,266

とってもいいモノ・読者プレゼント

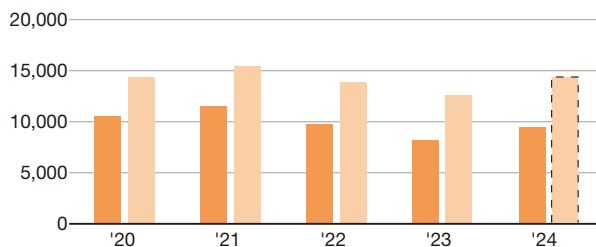
巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で50名様に当社ノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルダイアリー手帳2025年版です。

表紙には手触り良く弾力性に富んだ、汚れに強い塩化ビニールを使用。レイアウトはスケジュール管理のしやすいプロジェクトタイプを採用、集計ページも多く、サイズは縦17.4cm×横8.5cmと使いやすい一冊です。

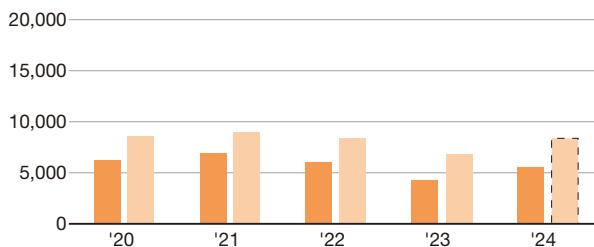


ご応募の締め切りは2024年11月8日(金)当日消印有効です。なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

③ 経常利益



④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



TOPICS

IR関係 事業関係 イベント

2Q

2024.2

電動二輪車向けバッテリー交換ステーション「Gachacoステーション」設置について発表

2024.3

一般社団法人 ロコソラーレとスポンサー契約を締結

IR 第60期（2024年10月期）第1四半期決算発表

土砂運搬可視化システムの導入について発表

無人レンタカー「フルタイム・レンタルサービス」の開始について発表

IR 自己株式の取得状況および終了について発表

2024.4

グループ合同入社式・新入社員研修を実施（新入社員は79名）

株式会社加藤製作所と被災地支援策の一環として「ショベルカー無償教習in金沢」を開催

現場の各作業の工数を減らすため事前に準備する【前始末】をもとにした新商材の取り扱いを開始

当社の遠隔操縦システムKanaTouchによる地盤改良施工機の遠隔操縦が可能なことを実証（実証実験）

PT KANAMOTO INDONESIA（非連結子会社・インドネシア共和国）の本社が移転

3Q

2024.5

株主優待品一部変更について発表

第6回建設・測量生産性向上展

（CSPI-EXPO2024）に出展（幕張メッセ）

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会設立50周年記念式典で感謝状を授受

2024.6

IR 第60期（2024年10月期）第2四半期決算発表、機関投資家向けオンライン説明会を実施

IR 社員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分について発表

4Q

2024.9

IR 第60期（2024年10月期）第3四半期決算発表

RATING

格付の状況

当社は、株式会社格付投資情報センター（R&I）ならびに株式会社日本格付研究所（JCR）より下記の通り格付を取得しております。

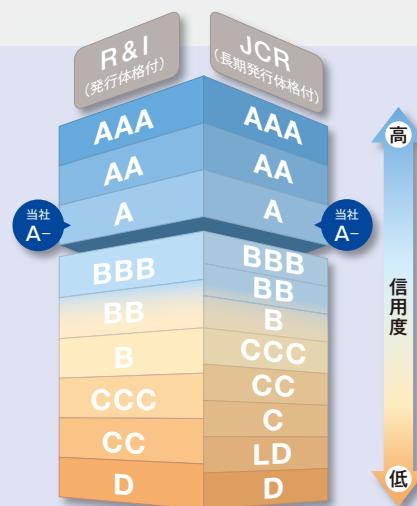
格付取得の概要

格付機関	格付対象	格付	格付の方向性・見通し
株式会社格付投資情報センター（R&I）	発行体格付	A-	安定的
株式会社日本格付研究所（JCR）	長期発行体格付	A-	安定的

格付取得の背景

北海道や九州といったシェアの高い地域において大型建設工事が本格化しており、こうした需要を獲得することで中期的に安定した利益が予想されることや、中古建機の売却やレンタル資産の運用期間の延長を行うなど保有資産のコントロールを適正に行っており、引き続き、財務構成の健全性は保たれると評価されたことによるものです。

当社は、今後も財務の健全性・安定性に努め、すべてのステークホルダーとともに成長を続けることができるよう尽力してまいります。



会社概要 (2023年10月31日現在)

商号	株式会社力ナモト (英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964 (昭和39) 年10月28日
資本金	178億29百万円 (払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所プライム市場・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	38,742千株
連結売上高	1,974億81百万円 (2023年10月期)
連結従業員数	3,910名 (役員、嘱託、臨時社員を除く)

役員 (2024年7月31日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	金本 龍男*		生島 典明
	橋口 和典*		石若 保志
	三野宮 朗*		竹内 巖
	渡部 純*	執行役員	熊谷 浩
	廣瀬 俊*		問谷 悟
	山下 英明*		佐藤 信幸
	内藤 進		中谷 秀樹
	有田 英司		田中 誠一
	米川 元樹		渡辺 光郎
	田端 綾子		小野田 隆司
	大川 哲也		山根 恵司
			伊藤 徹
			藤原 靖仁

(注) 1. *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
2. 取締役内藤進氏及び取締役有田英司氏、取締役米川元樹氏、取締役田端綾子氏、取締役大川哲也氏は社外取締役であります。
3. 監査役生島典明氏及び監査役石若保志氏、監査役竹内巖氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。

<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

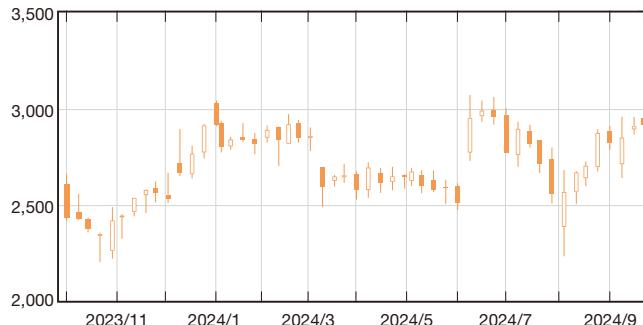
証券代行部	〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
証券代行部	〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 電話 0120-232-711

株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート (週足)

単位: 円





本誌は、ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **力十**

本社

〒060-0041

札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

<https://www.kanamoto.co.jp>

(証券コード9678)

営業統括本部

〒105-0012

東京都港区芝大門1丁目7番地7

Tel: (03) 5408-5600



北九州市旧門司税関(福岡県 北九州市)